

令和3年度「ひとり1改革運動」 11月推進月間 優秀事例紹介

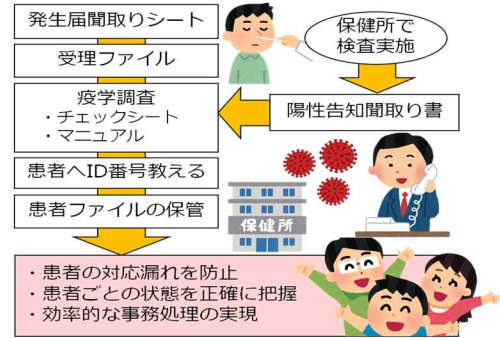
テーマ「業務に潜むリスクを把握し、事務処理ミスを未然に防ごう」

『患者を1人も漏らさない！～新型コロナをぶっ倒せ～』

【中部健康福祉センター 地域医療課 疾病対策班】

【新型コロナウイルス感染症対応業務において、業務改善によりミスを防いだ】

取組内容	効果
発生届聞き取りシート	発生届の提出が遅い場合も迅速に疫学調査を実施！
受理ファイル	24時間提出される発生届を適切に管理！
疫学調査チェックシート & マニュアル作成	保健所職員だけではなく、他部局からの応援職員も正確な対応が可能となり、疫学調査のミスを防止！
陽性告知聞き取り書の作成	陽性者への陽性告知の際、緊急度の整理が可能になり、効率的な受診案内と告知漏れの防止を実現！
陽性者へ患者ID伝える	問合せの際、迅速に患者情報を探し出し正確な回答が可能！
患者ファイル保管方法の工夫	患者の状態の見える化により、患者の対応漏れを防止！



【静岡県立大学 木村講師 から一言】

感染症患者への対応は、時間的猶予がなく、業務がひっ迫する中、迅速かつ適切な対応が必要となります。本取組により、経験の有無等に関わらず、どの職員でも、的確に情報入手し、ミスなく適切に判断・対応することができました。そして、重症化の予防や県民の命を守る基盤づくりに確実に繋がっていることが高く評価されます。誰もが適切な業務を担える仕組みづくりが、他業務でも活用されることが期待されます。

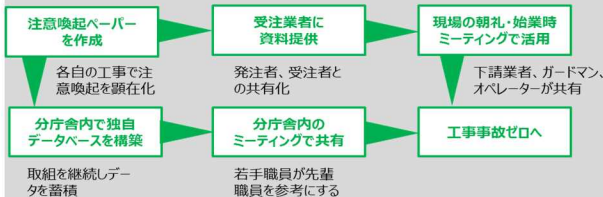
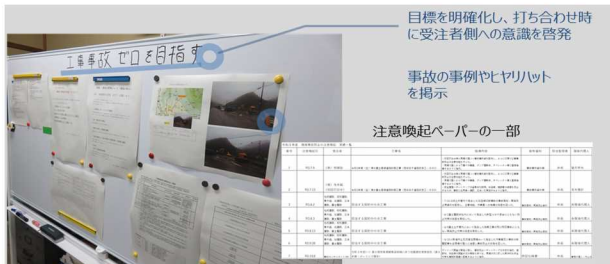
『工事事故ゼロを目指す新たな取組』

【富士土木事務所 工事課 富士宮班】

工事関係者全体への安全意識の醸成が課題となっており、以下の取組を実施した。

- 注意喚起ペーパーを作成し、朝礼や就業ミーティング等で活用
- 事故事例、再発防止策をまとめた共有フォルダを分庁舎独自に 設け情報共有
- 「注意喚起実施一覧」シートを作成し、分庁舎内で共有

この取組により、今年度は、**工事事故件数が非常に少なく**、受注者から、充実した安全教育ができるとの評価を得ている。また、受注者に指導や注意喚起を促すことが、各担当の安全意識の向上にも繋がる。



【常葉大学 酒井准教授 から一言】

工事事故は金銭的な損害だけでなく、場合によっては人命にも影響を与える重大事象です。工事には多くの事業者が関わるため、隅々にまで安全意識を浸透させることは簡単なことではありませんが、日常的な注意喚起が最も重要だと思います。このことを踏まえて、いかに適切に効果的に伝えるかに焦点を当てた、素晴らしい取り組みだと思います。